

令和6年度 都立武蔵高等学校・都立武蔵高等学校附属中学校
学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立武蔵高等学校・附属中学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 主幹教諭（教育情報部主任）＝事務局長、事務局、経営企画室長 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、中・高副校長、中・高教務主任、中・高生活指導主任、中・高学習進路主任、教育情報部主任、各学年主任 計16名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表（3名）、同窓会代表（1名）、近隣小学校長（1名）、近隣中学校長（1名）、教育行政関係者（1名）、地域関係機関代表（1名）、地域住民代表（1名） 計9名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日、出席者、場所、内容
第1回 令和6年6月18日（火） 内部委員3名、協議委員5名、校長室
委員紹介、学校経営計画等について、本校の現状と課題等（当初目標）について、意見交換
第2回 令和6年11月12日（火） 内部委員3名、協議委員6名、校長室
本校の現状と課題等（中間報告）について、学校評価アンケート項目、意見交換
第3回 令和6年2月20日（火） 内部委員2名、協議委員8名、校長室
授業参観、本校の現状と課題等（最終報告）について、学校評価アンケート集計結果、意見交換
- (2) 令和6年度評価委員会の開催日時、会場、出席者、場所、内容
令和6年11月12日（火） 内部委員2名、評価委員2名
今年度の学校評価の観点・項目、アンケート項目の検討、意見交換

3 アンケートによる学校評価（学校評価報告）

- (1) 評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で評価する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - 実施時期 12月
 - 対象（規模） 高校生徒（378人）、附属中学校生徒（479人）
高校保護者（378人）、附属中学校保護者（479人）
教職員（50人）、地域住民（11人）
 - 回収率 高校生徒（312人）82.5%、附属中学校生徒（401人）83.7%
高校保護者（337人）89.2%、附属中学校保護者（440人）91.9%
教職員（47人）94.0% 地域住民（8人）72.7%
- (3) 主な評価項目
 - 学校運営、学習活動、生活指導、進路指導、特別活動など
 - 今年度の重点：学習指導、生活指導、進路指導
- (4) 評価結果の概要 ※数値は特に記されていない場合は「そう思う」「ややそう思う」の計
 - ① 中学生徒
 - 学校生活が充実していると思う生徒が94.0%おり、学校生活全般への満足度は高いといえる。また本校の教育目標を知っている生徒が92.5%、本校には他の学校にはない特色があると思う生徒が86.6%と昨年度と同水準となった。本校の生活が自分の将来にとって有益であると思う生徒は94.0%にも達し、ここからも充実した学校生活を送っていることがわかる。
 - 授業に関しても高評価を得ている。年間授業計画に基づいた授業が行われていると思う生徒が93.3%、授業は理解しやすくなるよう工夫されて進められていると思う生徒が91.1%、また本校の特色の一つである「地球学」の時間は楽しく有益であると回答した生徒も69.9%となった。さらに全体的に授業に満足している生徒は91.0%にも達した。一方で、予復習など自分自身で勉強していると回答した生徒は74.9%であり、多くの生徒が予習→授業→復習の学習サイクルを回していることがわかる。
 - 生活指導については、生活指導の方針が明確に示されていると思う生徒が80.8%、基本的な生活習慣やマナーが身につくような指導が行われていると思う生徒が92.0%となっており、本校教員の生

活指導が生徒に定着しているといえる。また生徒の心身の悩みに応えられる適切な指導が行われていると考える生徒は73.6%、学校が体罰や暴言をなくすために積極的に取り組んでいると思う生徒が84.1%であった。

- 本校の進路指導は、6年間を見通した上で計画・実施されている。生徒の適性或希望などに合わせ、適切できめ細やかな進路指導が行われていると思う生徒が76.6%、将来の自分を考えるための情報や資料が十分に提供されていると思う生徒が83.6%となった。中学段階でも進路・キャリア教育の充実が生徒にも認識されているといえる。
- 学校行事や部活動に関して、学校行事を通じて様々な生活体験ができていると思う生徒が96.0%、ホームルーム活動は活発でクラス全体で関わっていると思う生徒が80.8%であった。また部活動について活発であると思う生徒は81.1%、学校行事は楽しく有益であると感じている生徒が95.8%となった。これらより高校同様、実施できるようになった部活動や学校行事の充実ぶりがうかがえた。
- 本校の生徒であることに満足していると思う生徒が92.8%に達した。その他、防災訓練や交通安全指導が効果的に行われていると考える生徒が83.6%、敷地内や体育施設内が整備されているとした生徒は83.1%と高評価であった。

②高校生徒

- 学校生活について93.6%の生徒が充実していると回答し、本校の教育目標を知っているとした生徒は90.1%、本校の生活が自分の将来にとって有益であると思う生徒が95.2%となり、いずれも90%を超えた。また、本校には他の学校にない特色があると考えている生徒は76.3%であったものの、武蔵での生活について、満足感を得ていると推測できる。
- 学校生活の中で授業はその核となる。授業に関して、年間授業計画に基づいた授業が行われているとする生徒が92.0%、授業が理解しやすくなるよう工夫されていると感じている生徒が84.0%と、教育課程や授業への満足度が高いと推測できる。また予復習など自分自身で勉強しているという回答した生徒が76.3%おり、家庭学習の習慣が概ね定着しているといえる。全体的な授業の満足度も、87.8%と昨年度を上回った。
- 生活指導において、本校では校則がない分、学校生活において自ら考える場面が多くなっているが、それでも生活指導の方針が明確に示されていると思う生徒は75.0%と7割を超え、昨年度よりも8ポイント以上上回った。また基本的な生活習慣やマナーが身につくような指導については87.8%の生徒が行われていると回答した。生徒の心身の悩みに応えられる適切な指導が行われていると思う生徒は76.0%で、昨年度より2ポイント近く向上した。学校が体罰や暴言をなくすために積極的に取り組んでいるとする生徒は88.8%に及んだ。
- 進路指導については、生徒の適性或希望などに合わせ適切できめ細やかな進路指導が行われていると思う生徒が84.3%に達した。昨年度を上回っており、進路実現に向けた指導が学習進路部や担任団との連携の中で、適切な時期に行われている成果であると考えている。
- 学校行事や部活動についても昨年度と同様、高評価である。学校行事を通じてさまざまな体験ができていると思う生徒が93.6%、ホームルーム活動は活発でクラス全体で関わっていると思う生徒が84.9%、と向上したが、学校行事で自発的・自立的な活動ができていると思う生徒が85.6%となり若干下降した。一方、部活動が活発であると思う生徒が69.9%で昨年度と同水準、学校行事は楽しく有益であると感じている生徒が95.5%と非常に高い評価をしており、感染症対策で行えなかった時期から平常時に戻るなかで工夫しながら行事を実施できた喜びを感じていると思われる。
- 本校の生徒であることに満足していると思う生徒が84.3%おり、その他の項目と同様高評価であった。その他、防災訓練や交通安全指導が効果的に行われているという生徒が80.1%、敷地内や体育施設内が整備されているという生徒は76.0%となった。

③中学保護者

- 学校生活全般について、本校の教育目標を知っている保護者が83.2%、子供の学校生活は充実しているという保護者は85.8%に達した。また、本校での生活は子供の将来にとって有益であるという保護者が93.6%あり、本校の教育活動が高く認められているといえる。本校には他の学校にはない特色があるという保護者も84.1%あった。
- 授業について、年間授業計画に基づいた授業が行われているという保護者は84.5%、授業が理解しやすくなるよう工夫されて進められていると感じている保護者は63.4%、中1から高1まで継続される「地球学」の時間が子供にとって有益であるという保護者は81.4%であった。子供が予復習などに取り組んでいるという保護者が昨年度より減少して66.6%となり、3割の保護者は、子供の家庭学習状況に満足していないようである。一方、授業に満足しているという回答は71.8%にのぼった。

- 生活指導について、生活指導の方針が明確に示されているという回答が78.9%、子供に対して基本的な生活習慣やマナーが身につくような指導が行われているが80.5%と高評価が継続されたのに対し、子供に心身の悩みに応えられる適切な指導が行われているが4ポイント以上下がって52.0%という回答結果となった。また学校が体罰や暴言をなくすために積極的に取り組んでいるとした保護者は64.1%となった。
 - 進路指導について、子供の適性や希望などに合わせた適切できめ細かな進路指導が行われていると回答した保護者が46.8%、子供が将来を考えるための情報や資料が十分に提供されていると回答した保護者が54.8%となり、他の項目からするとやや評価が低くなっている。分からないと回答した保護者も3割近くいることを見ると、中学生の進路指導の内容に職場体験や社会人講話などのキャリア教育も含まれていることがどこまで認識されているのか分析する必要がある。
 - 特別活動について、学校行事についての質問では、子供は学校行事を通じて多様な生活体験ができていると考える保護者が94.3%、また子供にとって学校行事は楽しく有益であると思える保護者は93.3%もあり、保護者が教科の学びだけではなく学校行事の実施も求め、今年度も高い満足感を得ていることがわかる。ホームルーム活動は活発でクラス全体で関わっていると考えた保護者が57.3%となり、「わからない」が30.5%となった。部活動が活発であるという保護者が66.6%となり、子供が健康で安全な学校生活を送ることができるように配慮していると考えた保護者が83.2%にも達し、今年度も感染症や熱中症対策について理解を得られていると認識している。
 - その他、子供が本校の生徒であることに満足しているという回答した保護者は90.0%にも達した。教職員が保護者との連携をとるように努めているという回答も67.0%あり、学校に対する満足度は高いといえる。また、都や学校が教職員の働き方改革に取り組んでいるという保護者は54.8%、また、防災訓練や交通安全指導が効果的に行われていると思われる保護者は65.2%となった。「わからない」がそれぞれ30%程度おり、認知されていない保護者がかなりいることが判明した。
- ④高校保護者
- 本校の教育目標を知っている保護者が85.8%、本校には他の学校にはない特色があると考えた保護者が84.9%となった。また、本校での生活は子供の将来にとって有益であると考えた保護者が97.0%、子供の学校生活は充実しているという回答した保護者は91.1%と、こちらも高い評価を得た。
 - 授業について、年間授業計画に基づいた授業が行われているという保護者が84.5%、授業が理解しやすくなるよう工夫されて進められていると感じられる保護者は71.8%となった。また子供が予復習を行うなど、自分自身で勉強をやっていると考えた保護者は73.9%おり、学校での授業と自宅等での家庭学習がうまく回っているととらえ、75.1%の保護者が、子供が授業に満足していると考えているようである。
 - 生活指導に関しては、生活指導の方針が示されているという回答が79.8%、子供に対して基本的な生活習慣やマナーが身につくような指導が行われているという回答が84.0%と高い評価となった。また子供の心身の悩みに応えられる適切な指導が行われているという保護者は73.3%、学校が体罰や暴言をなくすため積極的に取り組んでいると思う保護者は74.2%であった。
 - 進路指導について、子供の適性や希望などに合わせ適切できめ細かな進路指導が行われていると考える保護者が77.4%となっており、一人一人に合わせた指導が高く評価されていると考えている。
 - 学校行事などの特別活動では、子供が学校行事を通じて多様な体験ができているという回答が94.7%と向上した。ホームルーム活動は活発でクラス全体で関わっているという回答が73.3%、また子供にとって学校行事は楽しく有益であると思える回答は97.0%にも達した。部活動が活発であるという回答が69.1%と微増であった。子供が健康で安全な学校生活を送ることができるように配慮しているという回答が89.6%あり、引き続き本校の感染症・熱中症対策等が保護者に認められているといえよう。
 - その他、子供が本校の生徒であることに満足していると考えた保護者が94.1%、教職員が保護者との連携をとるように努めているという保護者も82.5%おり、ここからも学校の指導に満足感を得ているように思われる。また都や学校が教職員の働き方改革に取り組んでいると回答した保護者は68.8%であった。中学同様「わからない」が20%以上あった。また防災訓練や交通安全指導が効果的に行われていると回答した保護者は76.9%であった。
- ⑤教職員
- 全般的な満足度をはかる、学校が生徒や保護者に対して教育目標の周知を図っているとする回答が93.6%、本校には他の学校にはない特色があるとの回答が78.7%となっている。さらに、生徒は本校での生活が自分の将来にとって有益であると感じている、生徒にとって学校生活が充実している

という質問とも93%以上と、高く評価されている。

- 授業に関しては、年間授業計画に基づいた授業が行われているという回答が95.7%、授業が理解しやすくなるよう工夫して進められているという回答が100%、本校のカリキュラムは生徒の進路希望に応じた多様な選択科目が設定されているという回答が78.7%、生徒に予復習などの指導を行っているという回答が93.6%となった。これらから一人一人の教員が熱心に授業研究に取り組んでいる様子がうかがえる。
- 生活指導についても、生活指導の方針が明確に示されているとの回答が89.4%、生徒に基本的な生活習慣やマナーが身につくような指導を行っているという回答が80.9%、生徒の心身の悩みに応えられる適切な指導に努めているとの回答が85.1%あった。生徒に寄り添いながら、丁寧な指導を行っているという自負が感じられる。
- 進路指導については、生徒の適性や希望などに合わせ適切できめ細かな進路指導を行っているという回答が91.5%、進路に関する情報や資料を生徒や保護者に提供しよう努めているという回答が93.6%、生徒の希望進路実現に向けて工夫された行事や諸活動を行っているという回答が93.6%となった。これらから生徒の希望進路実現に向けて、学校全体で力を尽くしていると考えていることがわかる。
- 特別活動については、生徒や保護者と同様の傾向がみられ、生徒が健康で安全な学校生活を送ることができるよう配慮していると思える教員、生徒にとって学校行事は楽しく有益であると思える教職員がともに90%程度になった。一方で、部活動の活性化に向け適切に取り組んでいるとする回答は63.8%にとどまった。
- その他、本校の教職員であることに満足しているという回答が85.1%と、満足感を得ながら教育活動にあたっていることがわかった。一方、教職員間で、教育情報の交換がスムーズに行われているという回答が68.1%と昨年度より5ポイント上昇したもののやや低く、また教職員のライフワークバランスの実現が図られているという回答は55.3%だった。昨年度より12ポイント上昇したものの働き方改革を進行させていることが実感できていない教員もまだ多いといえる。また個人情報を十分に管理・保護しているという回答は100%となった。学校が保護者との連携を取るよう努めているという回答も93.6%にのぼった。

⑥地域

- 学校は生徒が安全な学校生活を送ることができるよう配慮しているとの回答が66.7%、公開講座の実施やホームページ等開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいるように見えるという回答が66.7%あった。
- 生徒の様子では、道德活動等の成果が感じられるという回答が66.7%、生徒の礼儀は良好であるとの回答は66.7%であった。文化祭などの学校行事が楽しく有益であるという回答が55.6%、部活動や生徒会活動に熱心に取り組んでいるという回答は55.6%となった。
- 学校は地域社会等の活動に対して協力的であるという回答が44.4%となった。また生徒の徒歩や自転車での交通マナーは良好であるという回答が55.6%であり、生徒の通学マナーについて課題があるといえる。
- 地域にとって都立武蔵高等学校・附属中学校は誇りになる学校であるとの回答が77.8%、家族や身近な人を本校に入学させたいという回答が55.6%あり、武蔵の教育活動が地域に認められているといえよう。また武蔵には他の学校にない特色があるという回答は55.6%であった。

(5) 評価結果の分析・考察

ア 学校運営

生徒や保護者に対しての本校の教育目標の周知については、学校案内への掲載、教室の前方で掲示を通じて、入学前から、そして入学後も常に、目にするよう周知をはかっている。これらの成果により、生徒・保護者とも80%以上の認知度があり、例年どおり非常に高い状態が維持されている。

また、今年度も昨年度と同様、本校の特色、学校生活の有益性や充実度に関しても、全て75%以上となっており、生徒・保護者とも学校生活が有意義であると考えていると認識している。

イ 学習活動

年間授業計画に沿った指導、授業の工夫について、高校生徒、中学生徒ともに90%以上で昨年度と同じく高い水準を維持しており、生徒は日々の授業で本校教員の質の高さを実感していると思われる。また保護者にも授業公開等によって、授業の様子が確認できたようである。

予習・復習に関しては中学生・高校生とも70%以上がやっていると回答したが、一方教員は90%以上が指導をしていると回答した。生徒の自己評価はやや低いものの、多くの生徒は学習サ

イクルを回しており、教員は家庭学習が全体的に習慣づいていると認識している。

ウ 生活指導

高校では校則は設けておらず、生徒の自主性を重んじながら、自ら考えて行動する指導を行っている。それを反映してか生活指導の方針の明確化については、高校生の肯定的評価は70%台にとどまったが、基本的な生活習慣やマナーが身につく指導については87%が評価していた。教員が放任しているわけではなく、日常的に声掛け等の指導を行っていることを反映しているといえる。

一方、生徒の心身の悩みに応えられる適切な指導が行われているかという設問に対しては、今年度は中高とも70%を超えたが、中学生保護者で10ポイント以上肯定的評価が下がった。支援が必要な生徒には、教員がより生徒に寄り添う指導を行ったり、スクールカウンセラーとの連携を含め教員間での情報共有を行ったりしているが、それを保護者にも伝える努力が必要といえる。

エ 進路指導

本校が重んじる進路指導については、中学・高校ともいずれの項目でも高い評価を得ている。年次にあわせ、進路部と担任団による組織的な面談指導等が功を奏しているといえよう。

進路情報や資料の提供に関しては、生徒・保護者とも多くが肯定的評価をしているが、やや中学生保護者の数値が低くなった。保護者にも保護者会や進路通信など情報提供を行うとともに職場体験や社会人講話などキャリア教育も進路指導の一部であることを発信していきたい。

オ 特別活動

学校行事の有益性については、中高の生徒・保護者がそろって90%以上の高評価であった。今年度は宿泊行事を含め、感染症対策、夏には熱中症対策を施しながらも行事が実施された。部活動や学校行事が実施され充実感を得られたといえる。

部活動についても、多くの大会が開催されたようである。そのような中、生徒や保護者の努力、保護者の協力もあって、どれも肯定的評価につながったと考えられる。

カ その他

健康・安全面の配慮については、生徒・保護者とも85%程度が肯定的評価をしている。

地域の方から、本年も本校が誇りになる学校であると多くの方から回答をいただいている。また礼儀正しいという認識をもっていただいてもいる。これらを励みに、地域についても考慮しながら、教育活動を進めていきたい。

ところで、3年前よりアンケートの実施方法を一部変更、生徒や保護者にはMicrosoft Formsで実施したが、これは生徒・保護者の入力の手やすさ、教員の集計の利便性から継続して行っていきたい。また、今年度は保護者のアンケート回答項目に「わからない」を入れた。このことにより中学の進路指導、ホームルーム活動、防災・安全指導、教職員の働き方改革等に関して「わからない」とした回答が20～30%あった。来年度については、これらの項目について学校からの発信も丁寧に行っていく必要があると考えている。

(6) 自由意見より

学校の指導に対する感謝の気持ちを表していただく一方、要望等が寄せられた。そのうち主なものを下で取り上げる。すべては掲載できないがいただいた自由意見は、教職員間で共有している。

① 中学生徒

昨年度同様課題や宿題の多さについての意見がいくつか見られた。予復習の指導とともに、授業改善については引き続き教員一人一人が取り組んでいく課題と考えている。スクールカウンセラーの予約待ちの長さや格技棟など施設に関する意見が中学生徒からもあり、やはり生徒の活動における安全を最優先に取り組む必要があると認識している。

② 高校生徒

教え方の工夫に関する意見や同じ授業内容でもクラスによって指導方法が異なることへの意見が出された。授業改善や教科内での指導内容の共通対応などについては引き続き取り組んでいくべき課題と考えている。また施設に関する意見が複数寄せられた。中学同様、格技棟などの体育施設の改善を求める声があり、生徒の活動における安全を最優先に取り組んでいく。

③ 中学保護者

高校とは異なるルール等に保護者の方でも違和感を覚えていることがわかった。入学前の学校説明会、入学後の新入生説明会、保護者会において、より説明を尽くしたい。本校では、中学生の時に規範意識を身に付け、高校生になるとそれを踏まえた自主自律を求めている。こうした発達段階に応じた方針があることを説明していく必要があると改めて認識している。

課題が多いこと、また公開された授業を参観した上で興味・関心を持たない授業があることが指摘

された。教員間で共有し、特に課題が多いと苦しんでいる生徒については、引き続き面談等でアドバイスを行っていく。

生徒の荷物の重さについて指摘があった。学校としても、生徒の意見を聞きながら、対策に乗り出している。また生徒の挨拶が少ないことに対しても意見があった。マナー指導を徹底していきたい。

タブレットをもっと活用してほしいという要望があった。自宅で使用する機会がなくても、全学年Teamsを活用したり、教科によってはロイロノートを授業内で取り入れたりするなどしている。

また、学校評価アンケートで、回答に悩む質問項目があったということで、「わからない」を設定した。「分からない」保護者が多い項目に関しては、学校として情報発信していくところにつなげていきたいと考える。

③ 高校保護者

一部の授業に対して興味ある授業にするための工夫を求める要望があった。生徒への授業評価を行い、興味関心度・理解度・要望等の意見をフィードバックし、授業改善に向けた取り組みを行って対応していく。また、多くの生徒が志望する難関大学に合格する学力を身に付けさせるため、授業のレベルを維持するためにも、生徒の興味・関心が高まる授業研究を推進する一方で、家庭での学習の必要性を生徒や保護者に、より説明していくようにしたい。学習不振者に対する手立てについては、教科で見えていくとともに、担任からも面談の場を設けて指導・助言していく。

学校行事や部活動において、生徒の意見を反映してほしいという要望があった。学校行事である以上、学校が責任をもって実施していく必要があるが、生徒の実態や要望も取り入れながら、生徒が安心して活動できるよう配慮していきたい。また不登校対策について学校が放置しているという指摘があったが、担任と保護者のやりとりだけでなく、スクールカウンセラーにつないだり、学年担任団や管理職と共有したりして、ともに対策を考えている。引き続き、生徒や保護者に寄り添った対応を取っていく所存である。また、情報公開や保護者会の充実についてもご指摘をいただいた。学校公開などとともに、生徒の活動の様子等も順次学校ホームページで紹介していくとともに、保護者会では過不足なく必要な情報を伝達したり、紙媒体だけでなく、Classi等を活用して情報発信をしたりするなど工夫していく。

④ 教職員

ペーパーレス化に対しての要望があった。来年度より企画調整会議や職員会議資料のペーパーレス化に取り組む。ライフワークバランスについて各分掌で改善に向けて取り組んでいる一方で適性検査などの負担が大きくなっているという指摘があった。引き続き、業務のスリム化・システム化・マニュアル化を進めていく。備品の充実に対する要望があったが、置き場所や予算等とも合わせて考えていきたい。

⑤ 地域

登下校時に道を占有して歩いているという指摘があった。年度当初だけでなく、その都度指導していく。また近隣との交流や学校周辺の乳児施設との交流についてご意見をいただいた。交流について、どのようなことが可能であるか考えていきたい。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・今年度についても、3回とも学校にて対面で開催でき、直接意見を伺えたこと。
- ・教育関係者、本校保護者および地域の小・中学校等の関係者より、それぞれの立場から質問や感想等を通じて、本校の改善のための率直な意見が得られたこと。
- ・学校評価アンケートの項目について意見を聴取し、改善を図れたこと。
- ・本校の指導の体制や方針等について意見を交換し、互いの理解が深められたこと。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・生徒の発達段階や学力等に応じたきめ細かい進路指導について、組織的な取り組みとしてより充実させること。
- ・学校評価アンケートの配布・回収方法のさらなる改善を行うこと。設問項目について、検討が必要なこと。
- ・各学年、分掌からの組織目標について具体的な数値などを示すこと。そして何をどれだけ達成し、何が課題なのかを分析した資料を提示すること。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・学校の教育活動等の様子などについて、本校の特色を地域の方々にも理解していただくため、何かをしてもらうだけでなく、学校ホームページ等を活用して発信力を高めるとともに学校も地域と協同して取り組むことを目指す。
- ・生徒の学校生活充実のため、教育目標の周知や特色の明確化を進めていく。

(2) 学習活動

- ・生徒一人ひとりの学力を鑑みながら、ＩＣＴ機器も活用しながら質の高い授業を実践する。
- ・生徒自らが予習復習と授業の学習サイクルの確立を進め、主体的に学習を展開し、達成感を自覚できる環境を維持させる。

(3) 特別活動

- ・来年度も感染症及び熱中症防止対策の観点から、安全・安心を確保できる学校行事、部活動の実施について検討・実践していく。
- ・学校行事の運営について、中高とも実行委員の生徒などの主体的な活動を促し、立案・実行していく。

(4) 生活指導

- ・基本的な生活習慣やマナーが身につく指導を継続し、健康な心と体の育成に尽力する。
- ・生徒の心身の悩みに応えられる適切な指導を行うため、各生徒への声掛け等を継続し、必要に応じて教員間で情報共有を行いながら対応していく。

(5) 進路指導

- ・個々の適性や希望に合わせた有効な情報提供を続け、主体的に進路を切り拓ける力を身に付けさせる。
- ・各生徒の学力等を踏まえ、適した目標の提示や段階を追った細やかな指導を担当団や進路部が連携するなど組織的に支援する体制を継続する。

(6) 健康・安全

- ・スクールカウンセラー、地域の諸機関との連携を強化する方法を検討していく。
- ・生徒の登校時における徒歩や自転車での交通マナーについて引き続き指導する。

6 学校運営連絡協議会の評価アンケート・「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員 人数 9人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
7	1				1	